

ABE KOGYO

施工説明書

施工業者様用

ラフィナート

raffinato

内装ドアユニット

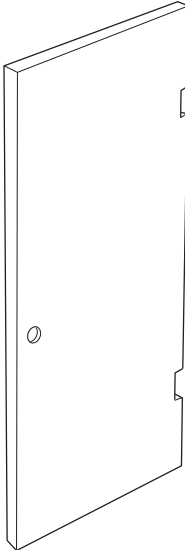

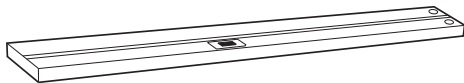
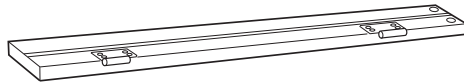


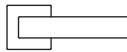

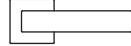
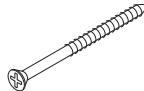


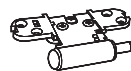
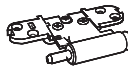
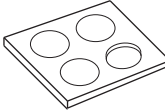

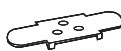
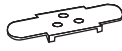
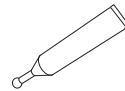
片開ドア・トイレドア

このたびは、ABE KOGYO製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。

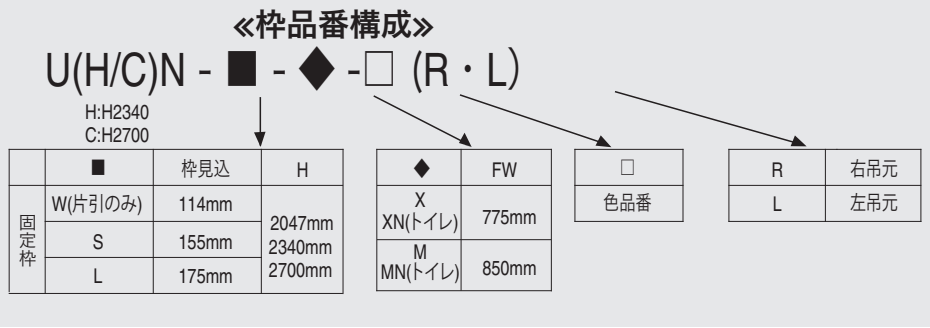
!

施工にあたってのご注意

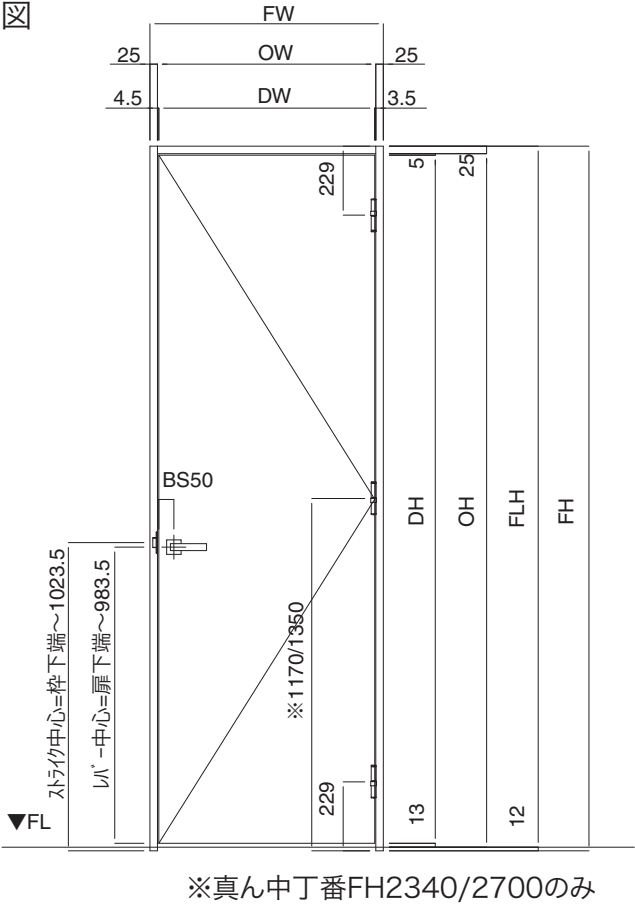
- この施工説明書をよくお読みになり、正しく取付けてください。誤った取付け方をしますと、人身事故や家財の損害が発生する恐れがあります。
- 商品に破損や異常がないか、付属品の不足はないかをご確認ください。万一商品に破損や異常があった場合、また付属品の不備があった場合は、販売店または阿部興業株式会社までご連絡ください。
- 照明灯などの熱により、表面化粧が冒される場合があるので、熱源は1 m以上離して作業してください。

扉 梱 包		枠 梱 包	
扉本体		上枠 (1)	
		縦枠 (1)	
		縦枠 (1)	
		縦戸当り (2)	
		上戸当り (1)	
金 物 梱 包			
レバーハンドル (1)	  	枠組立ビス (4) 躯体取付ビス (10)	 (3.4×60mm)
丁番取付ビス (8)		戸当り用ビス (10)	 (2.0×32mm)
扉側丁番 (上・下) (2)	 	ファニーサーブ (1)	  (4コ入り)
丁番ケースカバー (2)	 	接着剤 (1)	

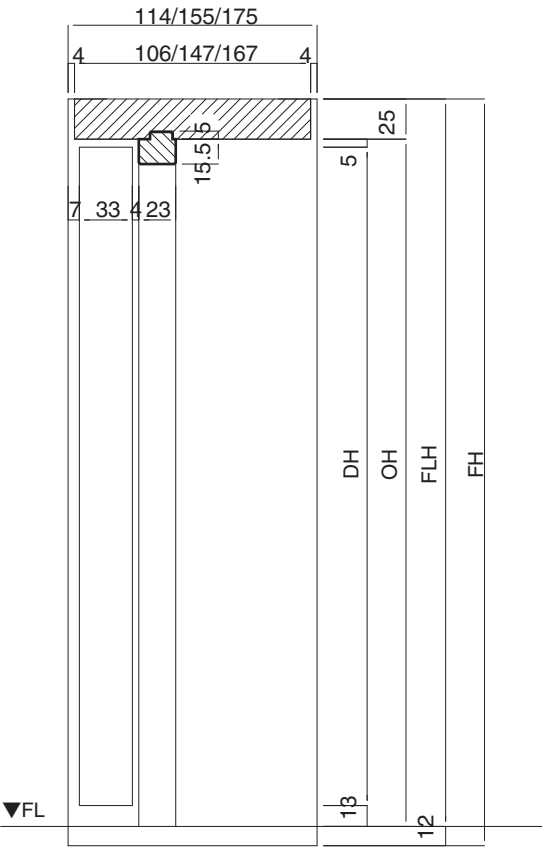
納まり図《片開・トイレ》



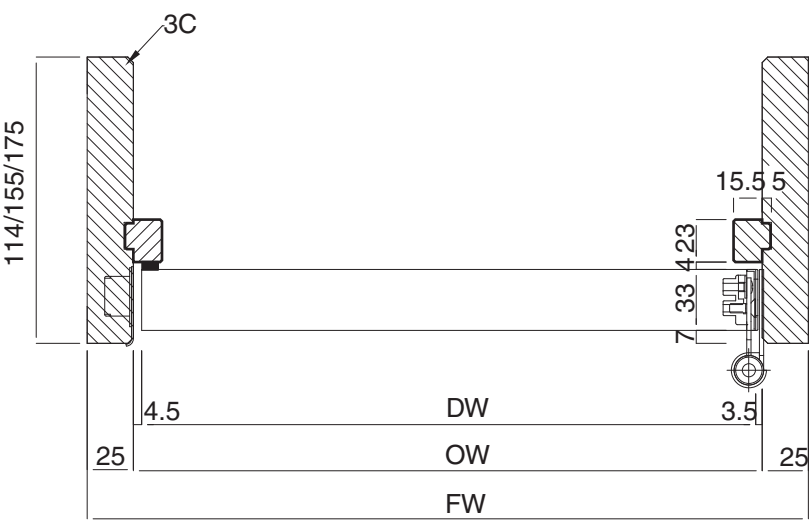
姿図



縦断面図



横断面図



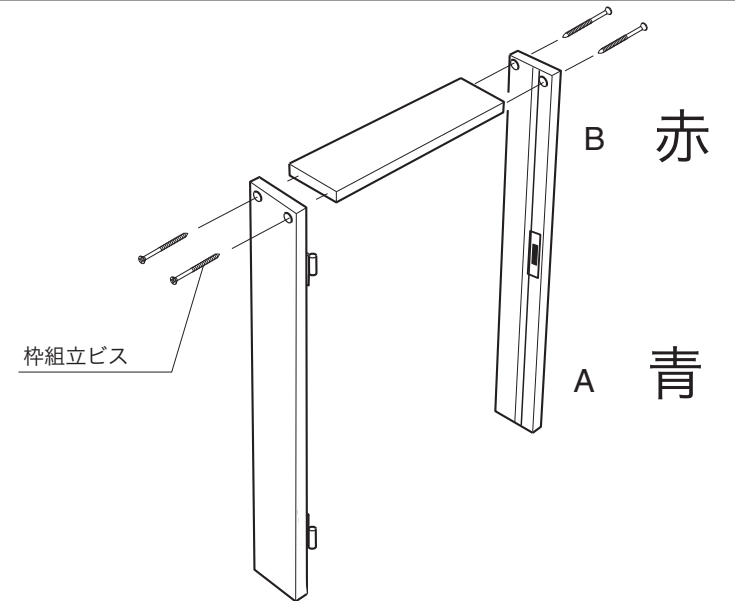
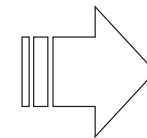
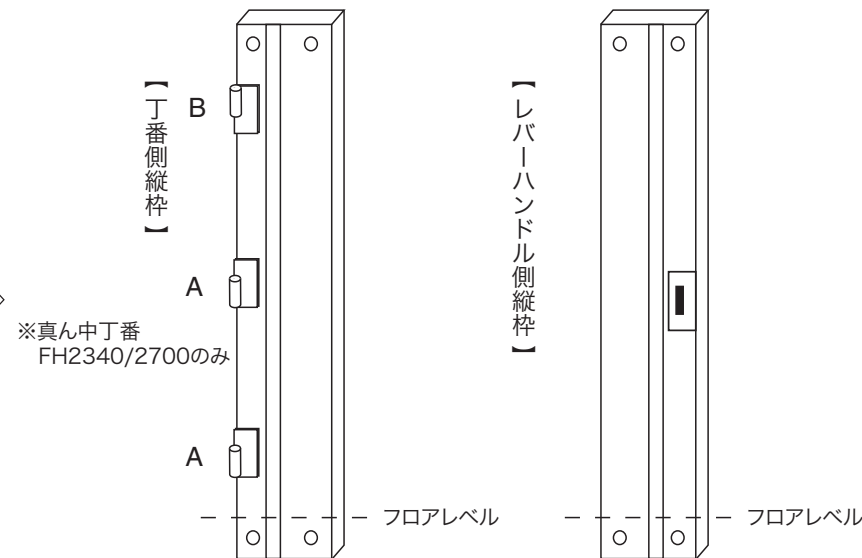
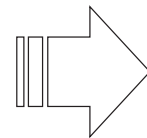
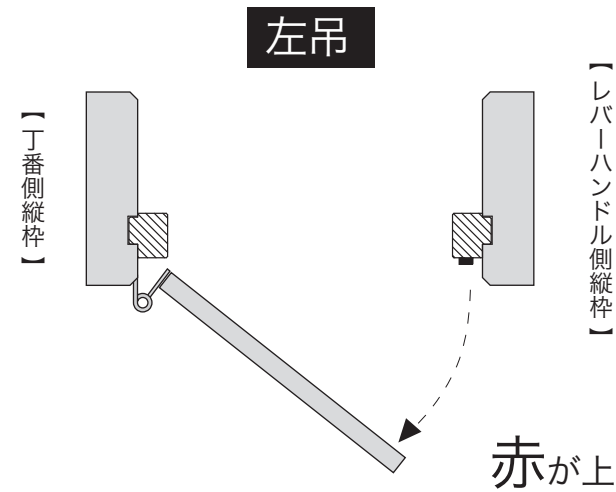
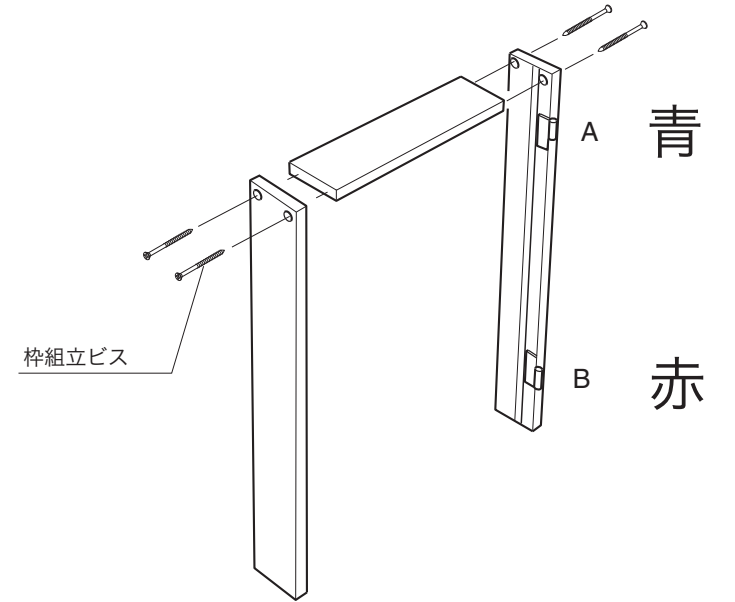
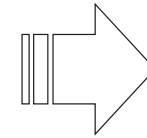
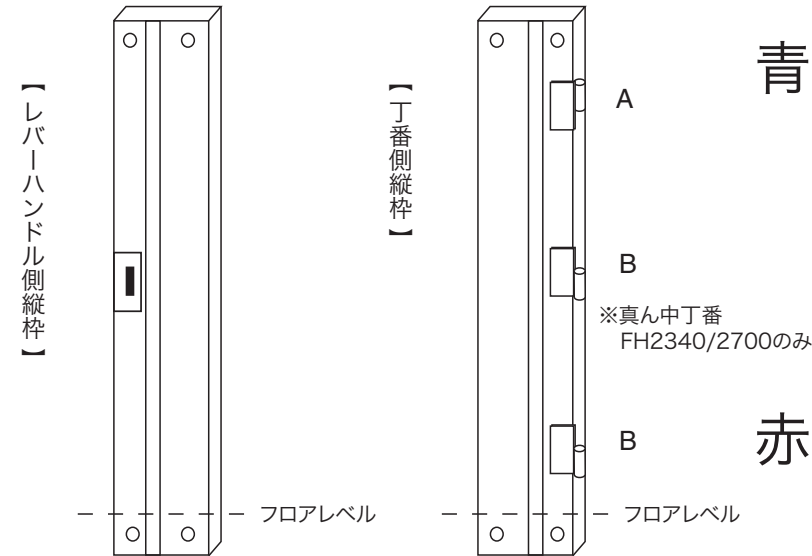
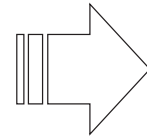
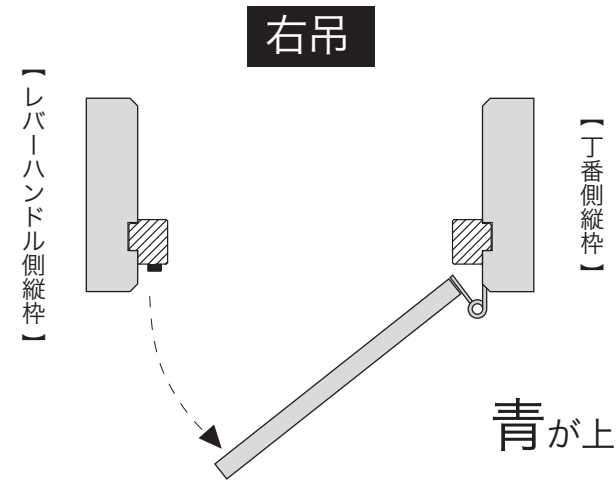
# 取付け順

## 1. 枠の組立て 左右兼用枠の為、切断に充分ご注意ください (FH2340/2700は左右設定有り)

①ご希望の開き方を下の図を参考に選択して下さい。

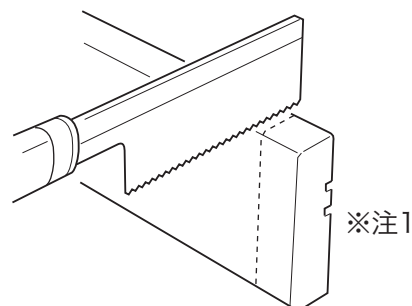
②上になる色を確認のうえ必要に応じて下端カットしてください。

③枠組立ビスで横枠と縦枠を固定して下さい。



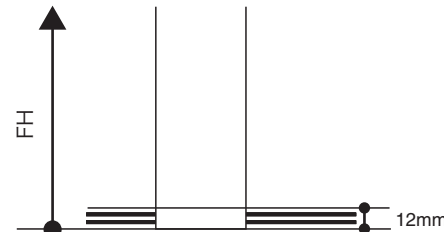
### <参考>縦枠カット寸法

縦枠は、長めに設定してあります。  
ご希望の現場施工に合わせて下端をカットしてください。

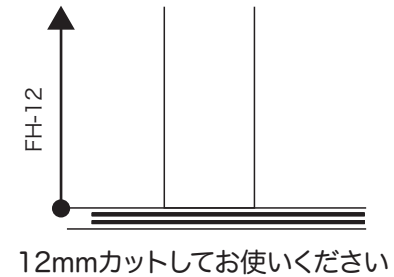


### ※注1

【1】12mm床埋め込みの場合

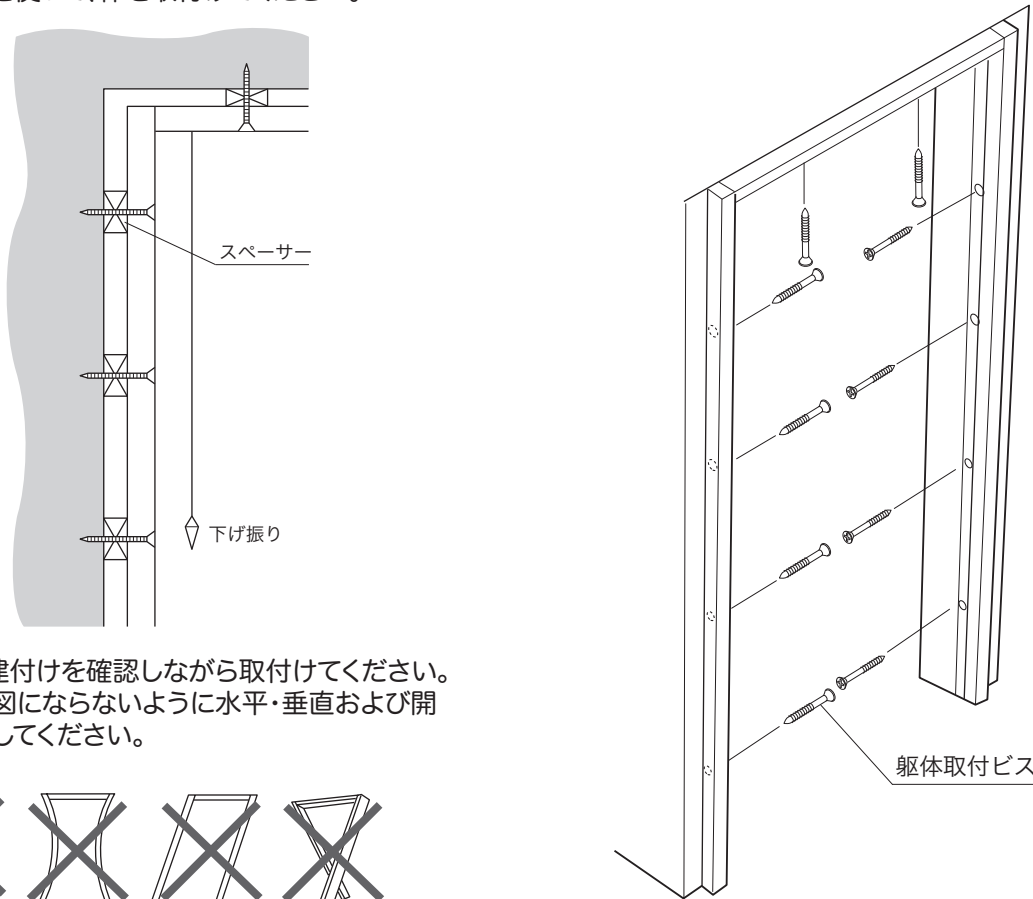


【2】フロア直置きの場合

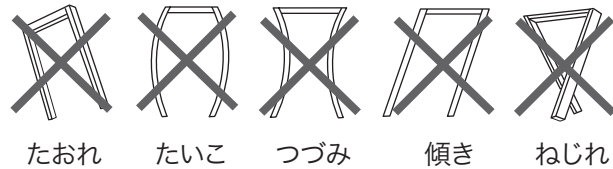


## 2. 枠の取付け

- ①開口部の水平・垂直を確認してください。
- ②躯体取付けビスを使って、枠を取付けてください。



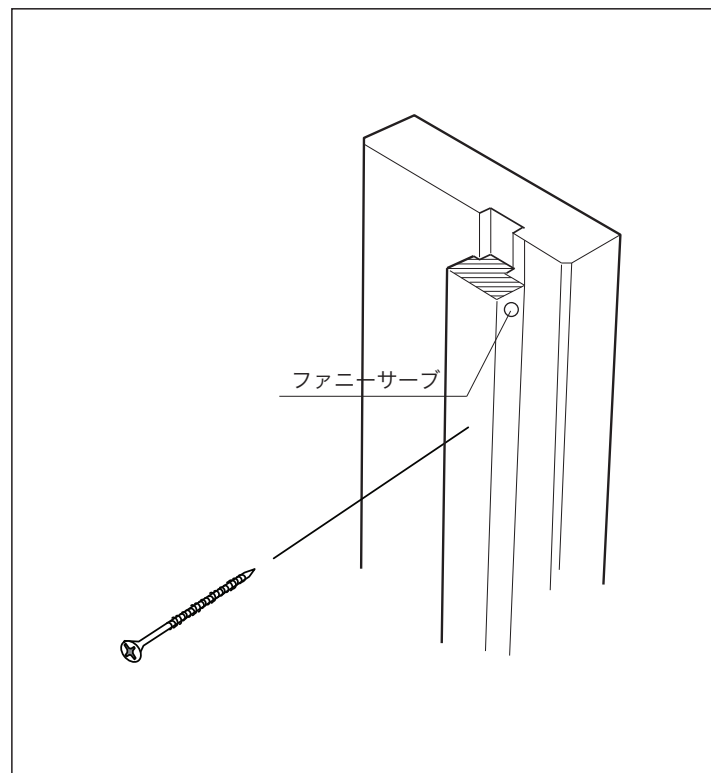
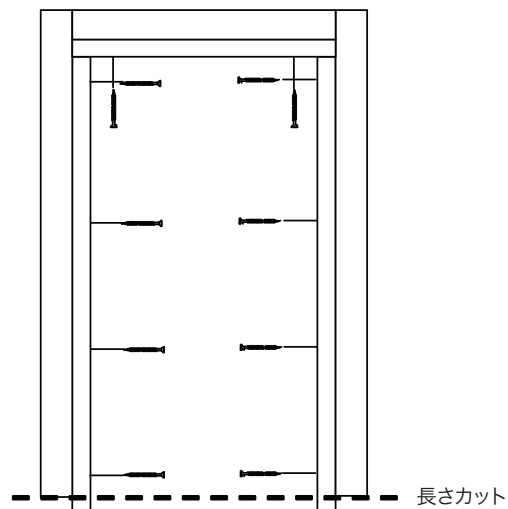
※下げ振りなどで建付けを確認しながら取付けてください。  
※施工後の枠が下図にならないように水平・垂直および開口寸法の確認をしてください。



## 3. 戸当りの取付け

- ①枠の溝に接着剤を入れ、戸当り用ビスで固定します。
- ②初めに、上戸当りを取付けてください。
- ③縦用の長さは、現場合せのうえカットしたのち、取付けてください。
- ④戸先側戸当りにファニーサーブを取り付けてください。

<ビス取り付け位置>



## 4. 扉の吊込み

- 丁番とレバーハンドルの取付けは、レバーハンドルの部品箱の付属の説明書をご覧ください。
- 扉側丁番、丁番ケースカバー、丁番取付けビスは、レバーハンドルの部品箱に同梱してあります。

### 注意

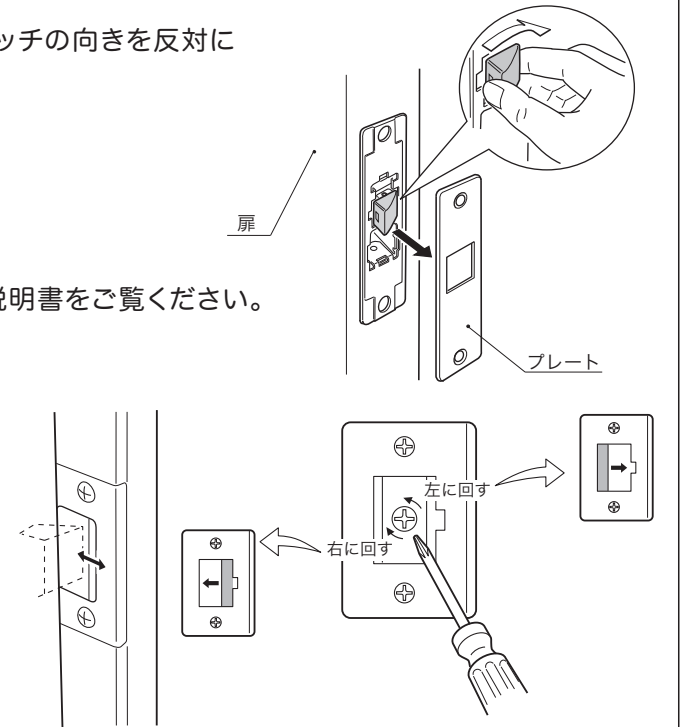
- ①一度扉を吊り込み、扉がスムーズに開閉できるかを確認してください。
- ②扉の保護のため、扉を一度取りはずし建築工事完了後に再度吊込むことをお勧めします。

## 5. 建付け調整

- ラッチの向き 右吊の場合にはプレートをはずして、ラッチの向きを反対にしてください。  
(標準は左吊用になっています。)

- 丁番 レバーハンドルの箱に同梱してある丁番の説明書をご覧ください。

- ストライク ラッチがストライクの中でガタついたり、ストライクにかからないときは、ストライクの調整を行ってください。±2.5mmの調整が可能です。



## 施工終了後の確認

施工が完了しましたら、下記の点について確認してください。

- ◆すべての部品が取付けられているか、また間違った取付けがされていないか確認してください。
  - ◆取付けネジが所定の位置に取付けられているか確認してください。
  - ◆ネジの緩みや枠のガタツキがないか確認してください。
  - ◆ドア本体の開閉がスムーズに行えるか、施工上の不具合がないか再度確認してください。
- ※枠・扉各々の取付けが完了しましたら、当て傷・擦り傷等がつかないようにお手持ちの養生材等で枠・扉の養生を完全に行ってください。
- 養生の際には、比較的粘着力の弱い紙製のマスキングテープ等で止めてください。

**△ ご注意 △** ポリエチレン繊維等の養生テープは、粘着力が強いため使用しないでください。

※ダンボールはリサイクル品です。地球環境保護のため、回収業者に引取っていただくようご協力をお願いいたします。  
※縦枠上部の小口に無塗装部分が見える場合は、補修セットでタッチアップして処理してください。

### <お手入れ方法>

- お手入れは、うすめた中性洗剤で汚れを落とし、乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。
- シンナー等の溶剤や強い洗剤を使用しないでください。使用しますと変色・変質しますので絶対に使用しないでください。
- ペンキ・グリース・油・バテ等が付着した場合は、速やかに拭取ってください。